

福島正美ニュースレター

発行：立川市議会議員 福島正美
TEL/FAX 042-522-9971



今こそ地域の絆を

東日本大震災から4か月以上が経ちました。今尚11万人以上の方々が避難所生活を送り、仮設住宅への入居が進まないことや、失職されている等深刻な状況が続いています。また原発事故による放射能汚染が我々の生活を不安に陥れています。こんな危機的な状況にありながら、政治は全く冷たく、打つ手打つ手に心の温かみが感じられません。現場の声がわからず、場当たり対応を繰り返す現政権の姿勢は当然責任を負ってしかるべきです。今我々に出来ることは、被災民の人たちの苦しみを我が心として共有し、復興に繋がる全てのことに協力していくことだと思います。これからも大事な現場の視点を忘れず、市政の課題に挑戦して参ります。



6月定例議会報告

平成23年第2回定例議会が行われました。
今議会は東日本大震災による甚大な被害を受け止め、今後の防災対策についての活発な論議が行なわれました。また小中学校への冷房設置が予定通り行われることや、市内100か所での放射線量測定の実施が決定しました。また熱中症予防対策として高齢者世帯への冷却用首ベルト無償配布や、廃園が予定されていた市民農園の一部存続も決定しました。



また一般質問は下記の通り行ないました。

1. 大震災の脅威と真剣に向き合うまちづくり
災害発生時の初動態勢の確立や災害時要援護者の方々との地域での顔の繋がる関係作りを初め、市民向け総合防災マニュアルの作成を提案しました。
2. 大型店出店による南北の交通渋滞解消策
イケアの進出によって予測される交通渋滞に対して、計画中の都市計画道路立3・1・34号中央南北線の南伸計画を実現させるための方策について進言しました。
3. 家族介護者への支援について
家族介護者に対する支援サービスを強化して、家族介護者の心のケア充実させるよう訴えました。

福島正美ホームページ <http://mf2933.sakura.ne.jp>

日々の活動を綴っております。ご意見、ご要望何でもお寄せください。

福島正美 6月市議会定例会での一般質問 (要旨)

大震災の脅威と真剣に向き合うまちづくり

【質問】立川断層帯は全国で7つある要警戒主要活断層の一つに指定されている。
このような実態について、もっと市民に情報公開すべきでは。

【答弁】国の重点調査の動向を見据え対応していく。

(翌日この立川断層帯について、新聞各紙が報道しました。)



【質問】地震が起きたら先ず近くの一次集合場所に集まって、ご近所の安否確認や応急救護を行なう初動態勢を確立することが大事である。

【答弁】自治会単位での避難誘導訓練を実施し、災害時の初動態勢についても周知を図っていく。

【質問】災害時要援護者の方々を地域で救助できるよう、障害者の方々と地域（自治会）との懇談の機会を設け、お互いが顔の繋がる関係作りを行なっていくべき。

【答弁】保護者の方々も含め、市民に広く理解して頂くよう努めていく。

【質問】災害時の行動を1つにまとめた市民向け総合防災マニュアルを作成すべき。

【答弁】現在あるハンドブックを改定して、市民向けに作成し周知していく。



大型店出店による南北の交通渋滞解消策

【質問】イケアの進出により、加速度的な交通渋滞が予測されるが、都市計画道路・立3・1・34中央南北線の南伸計画が一向に進まない理由は。

【答弁】青梅線踏切での道路の立体化で、交差する道路との接続の問題がある。

【質問】立川広域防災基地への陸路でのアクセスと高速化の必要性を訴え。市長、市議会、都議会、国会議員、商工会議所全員揃ってまちの総意として都知事に申し入れるべきではないか。

家族介護者への支援

【質問】老々介護や認知症、ご夫婦一方の脳梗塞等で介護をしている家族の方々への支援が急務である。実態は掴んでいるか。

【答弁】担当部署の他、地域包括支援センターへの相談や困難事例への対応等から、状況把握に努めている。

【質問】家族介護者の心のケアを最優先に交流サロンや訪問指導、小旅行等リフレッシュ事業を市独自で行ない、家族介護者への支援サービスを拡充して頂きたい。



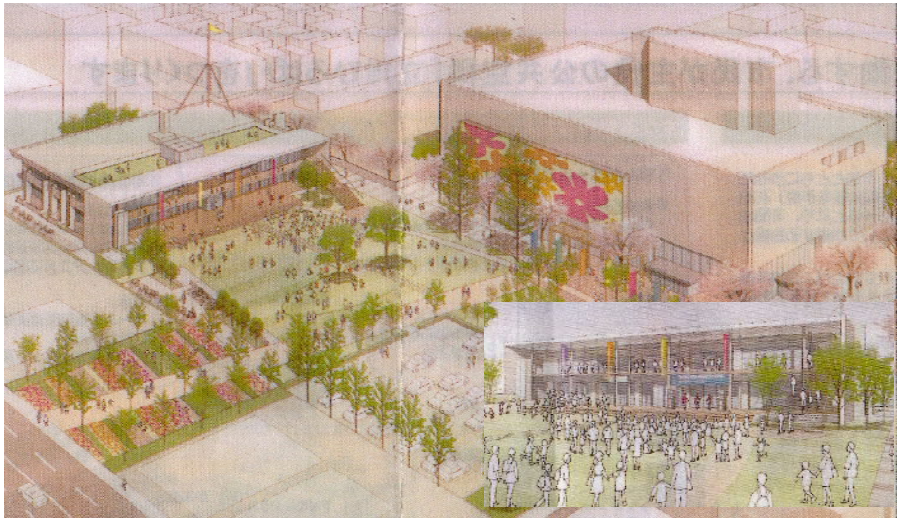
旧庁舎跡地活用事業

まんがを主題としたテーマパーク「立川ひろば」に決定!!

旧庁舎跡地利用に対する民間企業からの事業提案が行なわれ、「まんがを主題としたテーマパーク・立川ひろば」の提案企業が優先交渉権者に決定しました。

提案内容は、まんがは日本独特の文化と幅広い分野への発信力を持つということから、まんがミュージアムを開設し、賑わいテラスを設けてイベントや展示を行ない。人々が交流するひろばを創出するというものです。

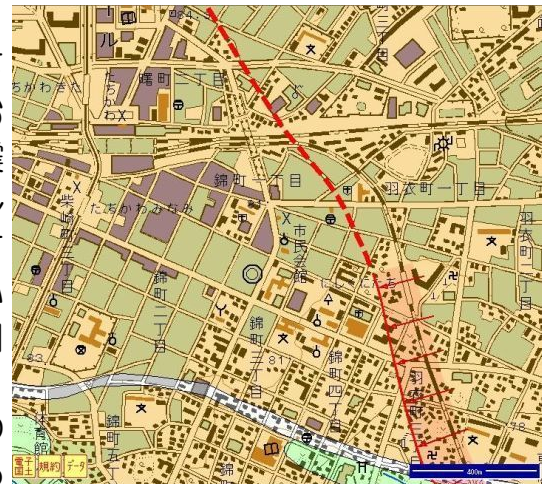
広場を中心に旧庁舎、市民会館が一体的となり、南口の核として、また多摩の情報発信の拠点として、多くの市民が集い行き交う施設が整備されます。平成25年度からの事業開始に向けて、今後地元の皆様との協議を進め、より良いものに作り上げていく予定です。



立川断層について

地震の種類には、海溝プレート型（東日本大震災型）と内陸直下型（首都直下型地震）があります。首都直下型地震は今後30年以内の発生確率は70%とされており、近年発生した新潟県中越地震、岩手・宮城県内陸地震等は内陸型で全て活断層というものが引き金になりました。従ってこの活断層というものの働きは決して軽視することはできず、とりわけその中でも立川断層帯は都心部周辺で最も注意を要する活断層として、政府から全国要警戒主要7活断層の1つに指定されています。

しかし学説では活動周期が5,000～10,000年と言われていることから、市の防災当局も意識は薄いものでありました。私は今回の一般質問で立川断層による地震の発生は想定し辛いといっても、決して市の主観ではなく、事実として広く市民に公表すべきではないかと主張しました。そうしたところ翌日（6月10日）の新聞にて当断層のことが報道されました。私たちはこれからも大地震は起こり得るという前提に立って、十分な防災対策を行なって行きたいと思えます。



立川断層帯は今後30年間に地震が発生する可能性が活断層の中では相対的に高いグループに属しており、発生確率は30年以内に0.5～2%、50年以内では4%となっています。今回の報道は東日本大震災によって東西のプレートが動き、特に立川断層を初め国内の3つの断層帯の地震発生確率が高まったというものです。

お知らせ

放射線量測定を市内100か所で行ないます

市民の皆様からの要望を受け、東電福島第一原発事故の影響による市域の空間放射線量を把握するため、測定調査を行ないます。

測定箇所は定点8か所と定点以外92か所の合計100か所です。

	個所数	測定箇所	測定頻度
定点	8	西砂小, 9小, 砂川中央地区多目的運動場, 幸小, 南砂小, 市役所北側広場, 3小, 諏訪の森公園	1回/2週間
定点以外	92	保育園, 幼稚園, 小学校, 学童保育所, 児童館, 中学校, 公園等	1回/2週間
合計	100		

※定点の測定は専門会社へ委託します。定点以外の測定は市職員が行ないます。

※測定後、ホームページに公表します。

※小中学校等のプールの水質についても、水質調査を実施します。

市内全小中学校に製氷機が導入されます

熱中症予防対策として、全29校に導入されます。(保健室に設置予定)



市民農園の一部存続が決まりました

廃園が予定されていた市民農園(柴崎第3農園)の存続が決まりました※平成24年4月利用者募集予定



今後の公営住宅募集予定

市営住宅⇒7月中旬(12戸予定)

……一般世帯, 障害者用, 車いす用等

都営住宅⇒8月上旬

……ポイント方式, 一般家族向け(抽選)



市議会のインターネット中継配信中!

昨年12月議会より、市議会のインターネット中継が始まっています。議会開催日当日は新庁舎1階のフロアで、またインターネットでは、立川市議会のホームページから録画で映像が配信されています。ぜひご覧ください。



市民相談いつでもお気軽にご相談下さい

福島正美まで



□厚生産業委員会委員長

□立川まちづくり特別委員会委員

電話: 042-522-9971

携帯: 090-6545-2425

E-Mail: mamfuns@nexyzbb.ne.jp

URL: <http://mf2933.sakura.ne.jp>